

第6節 県内におけるばい煙発生施設数等の年度別推移

1 ばい煙発生施設数の年度別推移

種 類 \ 年 度	14	15	16	17	18
ボ イ ラ ー	2,031	2,002	2,005	2,015	2,004
金 属 溶 解 炉	151	150	161	165	167
金 属 加 熱 炉	172	166	169	166	159
焼 成 炉 ・ 溶 融 炉	80	77	74	70	73
乾 燥 炉	103	102	100	96	102
電 気 炉	27	26	24	23	23
廃 棄 物 焼 却 炉	53	47	49	56	56
銅・鉛・亜鉛精錬用施設	11	0	3	2	3
塩素・塩化水素反応施設	80	74	66	69	68
ガ ス タ ー ビ ン	77	76	80	80	81
デ ィ ー ゼ ル 機 関	267	270	274	265	276
そ の 他	49	53	49	55	52
合 計	3,101 (100)	3,043 (98)	3,054 (98)	3,062 (99)	3,064 (99)

注 () は、14年度を100とした指数である。

2 燃料使用量の年度別推移

(単位：千 kL)

燃料の種類 \ 年 度	14	15	16	17	18
A 重 油	268 (100)	279 (104)	270 (101)	248 (93)	224 (84)
C 重 油	296 (100)	353 (119)	335 (113)	352 (119)	243 (82)
原 油	197 (100)	326 (165)	492 (250)	180 (91)	195 (99)
石 炭 等 [※]	802 (100)	1,102 (137)	934 (116)	847 (106)	864 (108)
小 計	1,563 (100)	2,060 (132)	2,031 (130)	1,627 (104)	1,526 (98)
灯 油	365 (100)	332 (91)	336 (92)	349 (96)	304 (83)
軽 油	344 (100)	322 (94)	356 (103)	373 (108)	360 (105)
ガ ソ リ ン	541 (100)	540 (100)	558 (103)	550 (102)	549 (101)
合 計	2,813 (100)	3,254 (116)	3,281 (117)	2,899 (103)	2,739 (97)

注 1 この表は、石油連盟及び県内事業所の資料を基に集計したものである。

2 () は、14年度を100とした指数である。

3 石炭等(※)は、石炭及びコークス、オイルコークスの使用量をそれぞれ重油相当に換算し、これらを合計した量である。

3 自動車保有台数の年度別推移

(単位：台)

用途、種類		年度	14	15	16	17	18
貨物用	普通車		29,294	29,294	29,338	29,327	29,228
	小型車		54,521	54,521	51,425	50,223	48,625
	被けん引車		844	844	885	899	941
	軽自動車		103,967	103,967	100,884	100,019	98,474
乗合用	普通車		841	841	842	853	847
	小型車		1,469	1,469	1,448	1,455	1,441
乗用	普通車		133,009	133,009	143,471	147,183	149,255
	小型車		323,178	323,178	316,240	314,336	308,691
	軽自動車		167,846	167,846	184,865	192,859	202,033
特種用途車			19,672	19,647	19,655	18,678	18,591
二輪車			18,910	19,050	19,457	19,857	20,039
総数			853,551	859,252	868,510	875,689	878,165

注 北陸信越運輸局富山運輸支局調べによるもので、それぞれ年度末現在の台数である。